

キャリア教育だより



鳥取聾学校ひまわり分校
発行日：令和6年2月26日
NO. 4 文責：後藤



小学部のキャリア教育



小学部は、キャリア教育の学習として毎年「先輩に学ぶ」の学習をしています。今年度は、「社会で活躍されている先輩の話をきくことを通して、将来に向けて考える土台づくりをする」ことを目的として、2月20日（火）に、ひまわり分校中学部出身、現在米子市役所人権政策課に勤務されている毛利輝さんにお越しいただきました。

第1部では、自己紹介をした後、毛利さんに、ひまわり分校で過ごしたときのこと、現在の仕事について、また、小学部のみんなへ伝えたいことを話していただきました。その後、絵が得意ということで、児童全員に即興で似顔絵を描いていただきました。

自分から自己紹介したいと、挙手をし、前に出て、名前や好きなものなどをしっかり伝えることができました。



第2部では、インタビューコーナーとして、児童がいろいろと質問したいことを毛利さんへインタビューしました。毛利さんは、児童に分かりやすくゆっくりとていねいに答えてくれました。

「小学部のとき、好きだった遊びは何ですか?」「宿題は好きでしたか?」「仕事で大変なことは何ですか?」など、たくさん質問しました。



毛利さんからのメッセージ

- ・コミュニケーション（人に話をしたり、人の話をきいたりすること）が、1番大事。
- ・みんなにやさしいことばで話をするのが大事。
- ・友達や家族など、相手の気持ちを考えるのが大事。

第3部は、保護者の皆さんを対象として、話をしていただきました。自己紹介、仕事に就くまでのこと、現在の仕事の様子、仕事に向けて大切なことなどについて話をいただき、その後質疑応答で、保護者の方からの質問にも答えていただきました。

小学部の子どもたちは、毛利さんの話を通して、「相手の気持ちを考えることを大事にしようと思った」「毛利さんのように、苦手なことでもあきらめずに頑張りたい」などと振り返ることができました。

小学部では、今後も社会で活躍されている先輩の話をきいたり、ふれあったりすることを通して、将来に向けて考えるきっかけづくりをしていきます。そして、小学部高学年、中学部へとつながるキャリア発達の土台づくりに引き続き取り組んでいきたいと思っています。